

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000067"/> 整理番号 <input type="text" value="11657"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="重金属除去用ポリウレタンフォーム様新規吸着剤の開発とその応用"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="環境"/>
適用製品	<input type="text" value="六価クロム吸着除去剤"/>
目 的	<input type="text" value="クロムは酸化数の違いによって人体に及ぼす影響力が異なり、三価のクロムは人体にとって必須であるが、六価のクロムは腫瘍の原因になるなど人体に悪影響を及ぼすことが知られている。これらのことから、酸化数の異なるクロムの中から六価クロムを選択的に分離回収する技術の開発は重要な意味を持つ。本発明では比較的安価な原料を用いた六価クロムの分離回収を目的とした新規なポリウレタンフォーム様吸着体を提供する。"/>
技術概要	<input type="text" value="ポリウレタンフォーム(PUF)の主原料となるpolypropylene glycol、4,4'-diphenylemethane diisocyanateおよび純水にトリアミン化合物(trimethylamine、triethylamine (TEA)、tributylamine、tri-n-hexylamineまたはtri-n-octylamine (TnOA))を添加し、約90秒かき混ぜてPUF様吸着体を合成した。この吸着体を粉砕し、3 M-HCl溶液25 mlに10分間浸漬させ、十分に純水で洗浄し乾燥させたものを新規ポリウレタンフォーム様新規吸着体(新規HCl-PUF)とした。この塩酸処理により六価クロムの選択的な分離回収が可能になった。水中の六価クロムはpH3.0付近で新規HCl-PUFに吸着し、その六価クロムの最大吸着量は<math>1.71 \times 10^{-3}</math> mol/gであった。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp